

# 加茂市浄化センターのしくみ



中央監視室



水質試験室

## ①沈砂池・ポンプ室

汚水の中に含まれている大きなごみや砂などを取り除き、ポンプで最初沈殿池へ送ります。

## ②最初沈殿池

池の中をゆっくりと汚水が流れていくあいだに大きな汚れが沈みます。底に沈んだ汚れ(汚泥)は、かき集められて濃縮タンクへ送ります。

## ③反応タンク

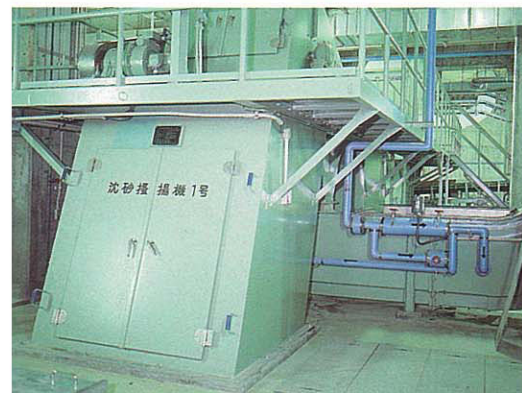
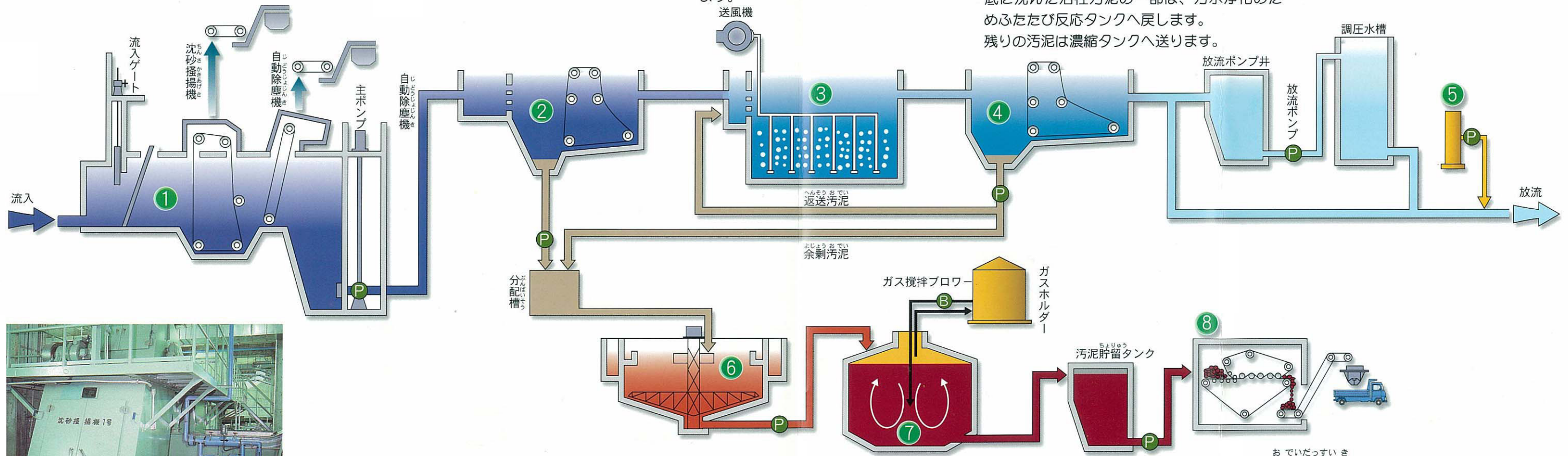
汚水に活性汚泥(微生物を含んだ泥)を混ぜて、空気を吹き込むと微生物は水のなかの汚れを食べて大きな固まりとなり、重くなってゆきます。

## ④最終沈殿池

池のなかをゆっくりと流れていくあいだに、反応タンクで重い固まりとなった活性汚泥は沈み、上澄みはきれいな水となります。底に沈んだ活性汚泥の一部は、汚水浄化のためふたたび反応タンクへ戻します。残りの汚泥は濃縮タンクへ送ります。

## ⑤滅菌設備

きれいになった水にはまだ大腸菌類がいるため、次亜塩素酸ソーダで消毒してから川へ放流します。



沈砂池

## ⑥濃縮タンク

沈殿池から送られてきた汚泥は、濃縮して量を少なくします。

## ⑦消化タンク

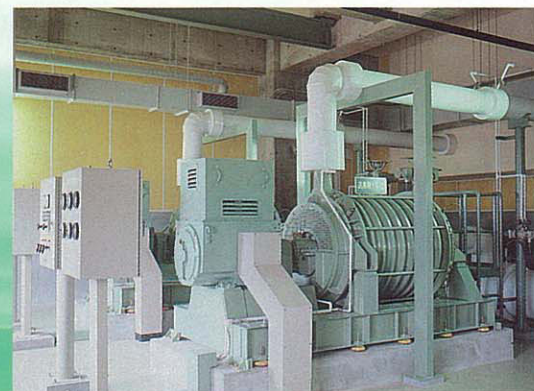
濃縮された汚泥は、密閉されたタンクの中で空気を嫌う細菌類により、ガスと水に分解されて汚泥は減少します。

## ⑧汚泥脱水機

消化された汚泥に薬品を加えて脱水機で水分を抜きます。脱水汚泥は肥料やセメントの原料に利用されます。



主ポンプ



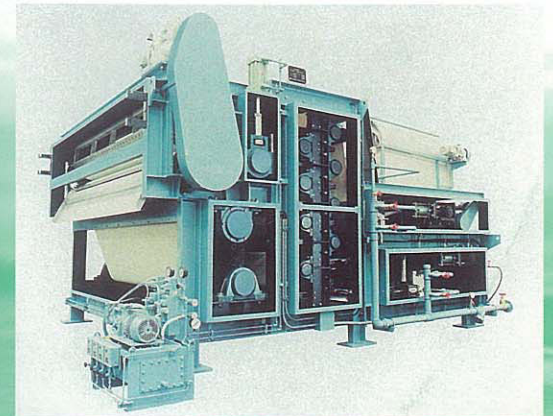
送風機



反応タンク



消化タンク



汚泥脱水機